

資料5-4-1 審議会意見一覧(生活・環境)

NO.	委員	施策	意見等	審議会での事務局回答	担当課	素案修正の有無	担当課回答	事務局意見・コメント
1	山本委員	22	現状と課題で理解が進んでいないと言い切っているが、根拠はあるか。言い切って良いか。		環境政策課	修正なし	市民意識調査では最新の数値で33.7%であり、現行案のままとさせていただきたいと考えております。	
2	市川委員	22	ネズミ被害、タヌキ、ハクビシンの被害多い。生物多様性の理解も分かるが害獣の考え方は。	施策25で害獣の駆除を含むが、生物多様性とは別の考え方として捉えている	環境政策課	修正あり	現状と課題に文言を追記しました。	起草委員会においてもご指摘を受けたことを踏まえ、改めて検討した結果、現状と課題に盛り込むことといたしました。特定の生物を例示することは困難であるため、害獣という語を使用は控えさせていただきますが、市民生活に害を及ぼす生物に対しては対応が必要である旨を追記しました。
3	前川委員	23	指標の考え方は、前の指標との引継ぎではないのか。	施策の進捗管理の観点でより良い指標を目指した	事務局			指標は4年1サイクルで行政評価に用いております。後期の指標設定に当たりましては、事務事業単独の結果を示すだけでなく、施策の進捗を示すものを検討いたしました。検討の結果、施策ではなく事業の進捗を示すものと判断したものは入れ替えております。 また計画期間の途中ではありますが、前期計画を振り返る中で、設定した指標が現状の取組になじまなくなるなど、次期4年間を考えてより望ましい指標となるよう再設定を行っています。 なお、事務事業の評価は施策評価と別に行っており、総合計画の記載がないものであっても、引き続き数値を把握してまいります。
4	竹内委員	23	緑被率があった方がよいのでは。	緑の基本計画で捉えているが検討	公園緑地課	修正なし		緑被率は、緑の基本計画策定時に委託をして調査しています。数値としては非常に大切ですが、毎年数値が把握できないことから、総合計画の指標としての採用は見送らせていただきたいと思います。図表などで示すことができないか、検討事項といたします。
5	にしみや委員	23	長期ボランティアの目標値は現実的なのか。増やすのであれば支援もしなければならぬと考える。		公園緑地課	修正なし		直近で花壇の取組を増やしたところボランティア人数が増加し、今後も増加が見込める状況です。引き続きボランティアの皆さまが取り組みやすい環境づくりを図ってまいります。
6	市川委員	23	建売に植木一本ないことが多く、冬は葉も落ち農作物の関係からも酸素が少なくなる。条例などがあると良いのでは。		公園緑地課	修正なし	小規模の宅地については緑化のための面積を確保することが困難なことから緑化の指導まではしていませんが、一定規模(500㎡)以上の宅地分譲については、府中市地域まちづくり条例に基づいて、緑化することを指導しているところです。	
7	秋池委員	23	・緑地が多いのは憩いの場として良い施策だが、利用のしやすさ、実利用者数の増加に向けての施策が必要 ・施策の方向性に、「様々な年代のニーズに即した公園施設の整備を推進する」とあるが、主要な取組にはそれに対応した具体的な施策がない ・提案する施策 ①年代別に利用しやすい公園の区分と配置 ・未就学児・小学生・それ以上～大人 ②各対象年代別に好まれる公園施設内容の決定 市内をブロック化し、それを其々のブロック内に配置 有料公園があっても良い		公園緑地課	修正なし	府中市総合計画に即した形で、府中市緑の基本計画を策定しており、その中で市民・地域ニーズを踏まえた公園の魅力向上に取り組むこととしているところです。いただいたご意見は、今後の緑の基本計画の改定時等の際に参考にさせていただきます。	
8	前川委員	24	主要な取組の佐久穂町の二酸化炭素の相殺が分かりづらい。		環境政策課	修正あり	表現の見直しを検討いたします。	

NO.	委員	施策	意見等	審議会での事務局回答	担当課	素案修正の有無	担当課回答	事務局意見・コメント
9	にしみや委員	24	ゼロカーボンシティを目指して大学や事業者と協定を結んでいるので、協働により推進したい取組などにこれからの連携協働あるいは計画作りのようなものを入れた方がいいのではないか。		環境政策課	修正あり	協働により推進したい取組に追記しました。	
10	前川委員	24	●主要な取組の佐久穂町と府中市の二酸化炭素の相殺は、カーボンオフセットのことですか？表現を整理しないと分かりにくい。		環境政策課	修正あり	カーボンオフセットと記載し、その注釈対応といたします。修正・追記しました。	
11	前川委員	24	●指標 ・平成30年は979千t-CO ₂ であった。後期計画ではより高い平成25年の数値を基準値としているのは何故か。 前期計画での目標値であった基準値以下は達成できたのか。		環境政策課	修正なし	前期計画以降に策定した第3次府中市環境基本計画において、国が基準値としている2013年の数値を基準値としたため、総合計画においても統一したものです。 なお、前期計画の目標値については、最新の数値が公表されている2021年度において940千t-CO ₂ と達成している状況です。	起草委員会・審議会のご意見を踏まえ、ご指摘の通り基準値は最新の値を示すことといたしました。しかしながら、全体の枠組みとしてH25実績の基準値として引き続きお示ししたく、注釈対応等で併記いたします。
12	前川委員	24	●指標 ・前期計画にある「改築される小・中学校への太陽光発電システム等の設置」は、何故無くなったのか。		環境政策課	修正なし	令和4年に作成した「府中市公共建築物環境配慮整備指針」において、新築・改築時は原則太陽光設備を設置することとしたため、指標から削除し、代わりに「市の業務から排出される温室効果ガス排出量」を指標としております。	
13	秋池委員	25	シャッター商店街の記載を盛り込んでほしい。	見た目の美化もあろうが都市基盤産業64で触れる	環境政策課	修正なし	商店街については、施策64で整理するものと認識しています。	
14	にしみや委員	25	行政対応について、全庁的な取組が見える形で構築するような内容を施策の方向性に加えてほしい。		環境政策課	修正なし	素案への反映ができる段階にはありませんが、委員ご意見等は承知しました。今後の施策検討・運営において研究してまいります。	
15	秋池委員	25	・施策の方向性 ①害虫の駆除等や飼い主のいない猫等への対策とあるが、タヌキやハクビシンなど小動物の総称である「ムジナ」やネズミも、まちの環境美化を損ねる。これらの記載と施策必要 ②空き家の記載があるが、シャッター商店街もまちの環境美化を損ねている。この記載と施策も必要 ③府中基地跡地、法務局跡地、少年院跡地等長く放置されている施設も同じくまちの環境美化を損ねている。この記載と施策も必要 ・②対応で「まちの商店街復活」施策を追加してほしい 具体的な施策:まちの電気屋さん、まちの肉屋さん、まちのパン屋さん等 身近に相談できる・身近に行ける商店街(高齢化対策としても活用)		環境政策課	修正なし	①施策22で対応することとします。(No.20参照) ②商店街については、施策64のとりまとめと考えております。 ③基本目標4 都市基盤・産業の分野で整理するものと認識しています。	
16	前川委員	25	●ケヤキ並木を守る事とケヤキ並木通りの美化について言及した方がいいのではないか。		環境政策課	修正なし	基本目標4都市基盤・産業の施策60又は施策66で対応することで調整してまいります。	
17	前川委員	26	PFASを記載した方がいいのではないか。		環境政策課	修正あり	『現状と課題』部分に記載されていた「有機フッ素化合物」の後ろに「(PFOS・PFOA等)」を追記。	
18	前川委員	26	●地下水汚染に関し、PFOS,PFOA等名称を書き込んだ方がいいのではないか。		環境政策課	修正あり	上記と同様	
19	山本委員	27	高齢化社会による火葬の増加と言い切るのはいかがか疑問がある。		環境政策課	修正なし	年齢と死亡率については相関関係があり、自治体やマスコミなどでも同様の記載がなされ、国民の理解もあるものと考えているため原案のままとさせていただきたく存じます。	
20	秋山(と)委員	27	斎場平均待ち日数、混む時期は1週間や10日待つ、平均にすると短く見えてしまう、市民感覚とずれが出る気がする。記述するかは別としても、気にしてほしい。	最大待ち日数について調整	環境政策課	修正なし	委員ご意見等は承知しました。全体的な記載としては反映が困難ですが、待ち日数の課題については、今後行う大規模改修の中でしっかりと対応してまいります。	

NO.	委員	施策	意見等	審議会での事務局回答	担当課	素案修正の有無	担当課回答	事務局意見・コメント
21	秋池委員	27	審議会でも話題になっていたが、指標の「斎場平均待ち日数」は実際の困り事を反映していない。長く待たされるとドライアイス代等、遺体の保存にお金が掛る。より適切な指標は、「最大待ち日数」とか、「一週間以上の待ち件数」		環境政策課	修正なし	委員ご意見等は承知しました。全体的な記載としては反映が困難ですが、待ち日数の課題については、今後行う大規模改修の中でしっかりと対応してまいります。	
22	にしみや委員	28	起草委員会指摘の通り、多摩地域1位というのは相対的だが行政計画としてなじむのか。	改めて検討します。	資源循環推進課	修正あり		起草委員会、審議会ご指摘の通りと考え、併記いたします。
23	前川委員	28	●生ごみの堆肥化は？		資源循環推進課	修正なし	堆肥化を含む生ごみは食品ロス削減の観点から次期個別計画において指標とするか検討してまいります。	
24	前川委員	29	エコセメント、多摩川衛生組合老朽化の言及があった方が良いのではないかと。		資源循環推進課	修正なし	老朽化については課題の1つとして記載しているため、現状のままとします。	
25	にしみや委員	30	生活道路などのヒヤリハット事例、相互空間の整備については基盤整備の施策か？現行計画では記載ない。		地域安全対策課	修正なし	ヒヤリハット事例については、交通ルールやマナーに伴うものは、意識向上の取り組みによる対応と考えております。空間整備に関しては、都市基盤の施策と捉えております。	
26	西村委員	31	闇バイトや特殊詐欺、地域に限定されない犯罪の横行、地域安全としてくくっているのか、別建てで柱を立てるのか、今後4年なので積極的に考えてほしい	起草委員会でも指摘された事項であるため、改めて調整します。	地域安全対策課	修正あり	犯罪への加担である闇バイトについては、施策の方向性で状況に応じて対応する旨を追記しました。また、現状と課題でも追記し、各罪種の状況に応じた施策を臨機応変に実施してまいります。	
27	前川委員	31	●めざす姿 ・府中市では:と冒頭につけたほうが良いのでは。		地域安全対策課	修正なし	他の施策と合わせて現在の表現にしております。	
28	前川委員	32	元の「福祉避難所」としてほしい。地域における自治会を主体とした要配慮者対象の動きもあり、施策33とも関連する。		防災危機管理課	修正なし	起草委員会にて、高齢者や障害者だけでなく、妊産婦、子どもや外国人などの要配慮者も想定した計画とすることをご意見をいただいたことも踏まえ、福祉避難所に限定せず、福祉避難所も包括した表現といたしたく、現在の記載内容としております。	
29	山本委員	32	市職員とはどこまでを指すか。窓口対応者も市民にとっては職員である。		防災危機管理課	修正なし	会計年度任用職員などの非正規職員は、現状、災害時に参集し、対応することとしていないため、災害時対応を行う市職員とは、正規職員を示しています。	
30	前川委員	32	庁内において、避難行動要支援者である高齢者、障害のある方等の把握、避難の在り方を横断的に検討していくべき。		防災危機管理課	修正あり	高齢者施策や障害者施策と連携し、進めていくことを明記するよう修正する。	
31	前川委員	32	・介護事業所、障がい者施設等と福祉避難所の協定を結んでいく。		防災危機管理課	修正あり	福祉避難所については、避難行動要支援者に対する避難支援などとも連動して進める必要があるものと捉えているため、No.33と同様	
32	市川委員	33	実際には、サラリーマンで日中は働いているなど、消防団員は市外に出ている、OBの活用を入れると良いのでは。		防災危機管理課	修正なし	いつ発生するかわからない災害対応は、地域における自主防災組織をはじめ、各協定団体等との協力連携のもとに行う必要があると考える。これを前提としながら、消防団としての活動は、権限と責任のもとに行われるものと考えており、その責務を果たすため日々の活動訓練に努めていることから、現状のままとしたい。なお、ご提案の消防団OBの活用については、ご意見のとおり、消防団員として培われた知識経験による力は大きいものと捉えているため、分団長の職にあった方が多く在籍する府中消友会と、災害時における地域応急活動に関する体制確立の協定を締結している。	
33	前川委員	33	●指標 ・「日頃から家庭で災害に対する備えをしている市民の割合」;基準値(R2)70% 今回の基準値;61.1%下がっている理由は？		防災危機管理課			直近の市民意識調査により把握している実績値である。
34	前川委員	33	●指標 ・「文化センター圏域自主防災連絡会」の組織結成数は必要では。		防災危機管理課	修正なし	現時点では、前期基本計画期間中に、全文化センター圏域において自主防災連絡会の立ち上げ完了を想定しています。そのため、立ち上げ完了後に当たる後期基本計画では、指標としない考えです。	

NO.	委員	施策	意見等	審議会での事務局回答	担当課	素案修正の有無	担当課回答	事務局意見・コメント
35	山本委員	34	現状と課題で木造住宅の耐震化で木造住宅に限定しているのはなぜか。	熊本地震等の実績を踏まえた対策であるため。	住宅課			熊本地震や能登半島地震における倒壊の状況から木造住宅に重点を置くものです。
36	山本委員	全体	市民意識調査により把握した、とあるがこの調査は曖昧ではないか。	回答は38.7%で統計的にも問題ないと考えている	事務局			統計上の有意性が認められるサンプル数であることから、問題ないものと考えております。